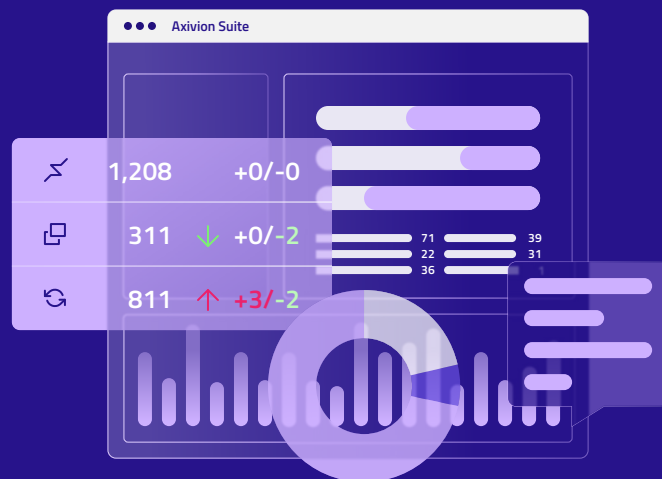


Axivion for CUDA

CUDA アプリケーションの真のポテンシャルを解き放つ



CUDAアプリケーション向けの 自動静的コード解析とアーキテクチャ検証



コンプライアンス対応

CUDAコードで
主要なコーディングガイドラインや
業界標準へのコンプライアンスチェに対応



保守性の強化

技術的負債の解消に
要する時間を33%短縮し
問題が発生する前にリスク要因を特定



効率を最大化

ソフトウェアアーキテクチャを
分かりやすくすることで
開発コストを最大15%削減

- ☒ アーキテクチャ検証
- ☒ クローンの検知と管理
- ☒ メトリクス監視
- ☒ コーディングガイドラインと不具合検知
- ☒ デッドコード分析
- ☒ 循環依存検知

技術的負債を最小化

Axivion for CUDAは、既存の技術的負債を削減し、新たな負債の発生を防止します。現在の開発環境にシームレスに統合され、変化するニーズに合わせて柔軟に適応・スケールできる柔軟性を提供します。

お問い合わせ

ご質問やデモのご依頼はこちらから

www.qt.io/ja-jp/axivion-for-cuda



解析における盲点を検出

Axivion for CUDA では、MISRA、CWE、ISO 26262、IEC 61508、IEC 62304 などの主要な業界標準およびガイドラインへの準拠をチェックする際に、CUDA コードがチェック対象に含まれます。安全性が重要視される環境でのアプリケーション開発に最適です。

C、C++ and CUDAのオールインワンツール

Axivionは、GPU専用コードの開発から既存ソフトウェアのCUDA対応GPUへの適応まで、あらゆるプロジェクトの効率化を支援します。コードの保守性を確保し、主要な標準規格やガイドラインに準拠した状態を維持します。

Axivion for CUDAを使う理由



バグを早期発見



業務負荷を軽減



市場投入までの時間を短縮して利益を最大化

アーキテクチャ検証

コードの変更ごとに、意図した構造からの逸脱を自動的に検出することで、ソフトウェアアーキテクチャを明確で維持しやすい状態に保ちます。既存のアーキテクチャの課題は、ターゲットを絞ったリファクタリングにより解決でき、進捗状況は詳細な結果レポートで追跡可能です。

静的コード解析

Axivion 静的コード解析は、安全性が重視されるソフトウェアの開発に最適です。反復的な大規模なチェックを自動化し、包括的なレポートを通じて信頼性の高い結果を提供します。問題を早期に検出することで、Axivion は技術的負債の防止、リソースの節約、および高いコード品質の維持に貢献します。

主要な技術仕様

言語	CUDA® C++, C, C++
コンパイラ	Blackfin, Clang, Codevision, CodeWarrior®, Cosmic, Green Hills Software®, GNU, IAR™, Keil™, Microchip®, Microsoft®, NVIDIA nvcc, Renesas, Tasking, TI, Windriver, Others
ホストOS	Windows® / Windows® Server®, GNU/Linux®/Linux® ARM, macOS®/macOS® ARM
ブラウザ	Microsoft® Edge, Mozilla Firefox®, Google Chrome™
IDEプラグイン	Qt Creator, CLion, Eclipse™, Eclipse-based (e.g. e² Studio, Atollic TrueSTUDIO®, CodeWarrior®, DAVE™, STM32CubeIDE, TI Code Composer Studio™), Microsoft® Visual Studio®, Microsoft® Visual Studio Code®, Generic plugins
CI/DevOpsプラグイン	Azure® DevOps, Jenkins®, Integration for e.g. Bitbucket®, GitLab®, GitHub
バージョン管理システム	Borland®/Inprise®/MicroFocus® StarTeam®, CVS, Fossil, Git™, IBM® Rational® ClearCase®, IBM® Rational®, Team Concert®, Mercurial, Microsoft® Team Foundation Server®, Microsoft® Visual SourceSafe®, MKS Source Integrity®, Perforce®, Perforce®/Seapine® Surround®, Plastic, PTC Integrity®, Serena® Dimensions®, Serena®, PVCS®, Subversion®
UML ツール	IBM Rational Rhapsody, Sparx Enterprise Architect (via XMI or .gea-files), PlantUML
コーディングガイドライン	MISRA C/MISRA C++, AUTOSAR C++14, CERT C/CERT C++, CWE, ISO / IEC TS 17961, Qt Framework, Custom rules
品質ガイドライン	ISO 26262, IEC 61508, IEC 62304, EN 50128, EN 50628

※上記の仕様は Axivion 7.10 に適用されるものであり、網羅的な情報ではございません。全仕様の詳細につきましては、弊社までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。技術情報は予告なく変更される場合がございます。無断転載・転用を禁じます。記載されている会社名および製品名は、各社の市場および/または各国における商標または登録商標です。弊社では、パートナーの皆様常に最新の情報をご提供できるよう努めておりますが、製品のリリースと本資料の発行との間に仕様が変更されている可能性がございます。あらかじめご了承ください。© Qt Group | 202505